

JOUEN

冬号9
Vol.

2019 1月 January 伝燈院赤坂浄苑

新たな出会い、新たな体験、新たな発見
伝燈院と皆様をつなぐ「JOUEN」です

JOUEN

平成三十一年二月一日発行 伝燈院 赤坂浄苑



つのだ けんりゅう
副住職 角田 賢隆
ご挨拶

購入した理由や趣味の広がり

ご契約者様インタビュー

誌上落語教室 第二回 落語家の階級

赤坂浄苑イベント報告

赤坂浄苑を支える人々 株式会社 青山

健康特集

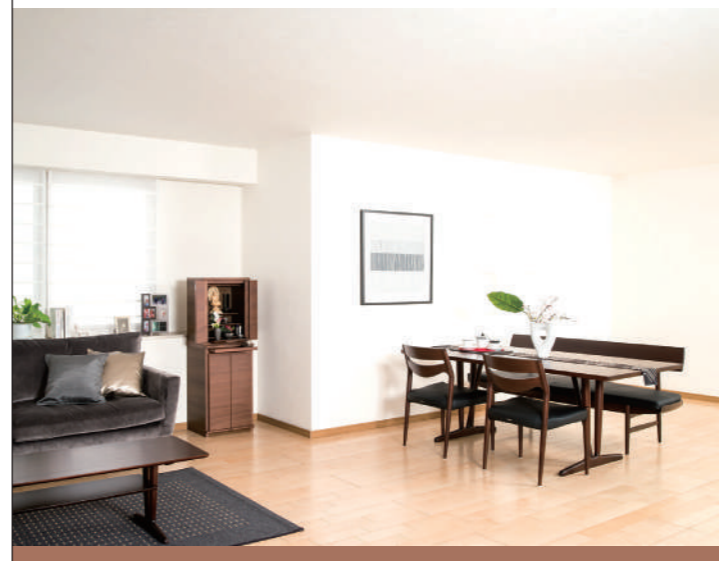
趣味の検定に楽しくチャレンジ

偉人の遺言

赤坂浄苑 行事予定



ともに生きる。
いつも近くで。



HK Shelflex
エイチケイ シェルフレックス

はせがわ
karimoku

GOOD DESIGN AWARD
2017年度受賞

はせがわ
つなぎます。心と、いのちと、人。

LIVE-ing
はせがわ
リビング・コレクション



大切な人を近くに感じて暮らすために、
はせがわが国内の家具専門メーカーと
ともに作り上げた仏壇コレクションです。



01P 伝燈院 **赤坂浄苑**
副住職 **角田賢隆** ご挨拶

JANUARY 2019

【特集】
03P **購入した理由や趣味の広がり
ご契約者様インタビュー**

施設の美しさとスタッフの皆さんの対応に感激。
いつも家族揃って
清々しくお参りをしています。



ご主人／椎名健之様 奥様／椎名かおり様
お子様／椎名華耀ちゃん 椎名華麗ちゃん

06P 誌上落語教室 第二回 落語家の階級

07P **赤坂浄苑イベント報告**

イベントを通じて、新たな楽しみを発見しました！

09P **赤坂浄苑を支える人々** 支える方の豊かな暮らしをお手伝い

11P **健康特集** 風邪と冬場の乾燥との深い関係。

12P **趣味の検定に楽しくチャレンジ**

13P **偉人の遺言**

14P 伝燈院 赤坂浄苑 行事予定

伝燈院 **赤坂浄苑**

副住職 **角田賢隆**

新年のご挨拶

あけましておめでと〜うございませす。



「正月」とは一年の初めに、その年の豊作を司る「歳神様」（としがみさま）をお招きしお祝いする時期で、稲作により発展してきた日本にとって大変大切な行事でございます。

新年の挨拶である「おめでと〜う」の語源は「愛でる」（いつくしむ）でございますが、その他に「芽出る」（芽吹き）という意味も含んでおり、「歳神様」に対する感謝や人々の繁栄・向上を祈るありがたい挨拶なのです。

日本仏教は神道の懐の深さから「神仏混合」で混ざり合い現在に至っておりますので、仏教でも「神様」は大切とされております。毎年行っております「新春祈禱会」では、お釈迦様が説かれた「般若経」の功德で皆様方の安寧をお願いする傍ら、「神様」に対しても供養を差し向けお力添えをいただいております。

生まれた日を一歳とし、正月を迎えると歳をとる歳の数え方を「数え年」（二月三十一日に出生すると翌日二歳になる）といい、それほどまでに日本人にとって正月はおめでたいものでございました。

たしますが、はつきりとした正解はございません。現代において「数え年」で年齢を伝える習慣は皆無ですから、伝燈院では「満年齢」での表記を推奨してございます。ですが、古来より行われている「厄除け」などは「数え年」で行うことが多くありますので、その用途によってご自身で判断されるのがよろしいかと思えます。

禅語の「日々是好日」（にちにちこれこうじつ）という言葉が私の座右の銘であり、「毎日が自分にとっていい日である」という意味です。何かと大変な暮らしをされておられ、到底そのようには思えなく「神仏」に助けを求めようとする方がおられます。しかし、いかなる宗教でも信仰の本質は「感謝」でございます。日頃の感謝があつて初めて、努力ではどうしても到達できないあと一歩を後押ししてくださるのが道理であり、なんでもかなえてくれるような都合の良い万能神は存在いたしません。

私自身未熟であり、失敗続きの日は落ち込み、お酒の量が増え、人や時代に責任転嫁してしまうこともあります。目線を少し変えて、つらい経験も明日に繋がる糧と思えば、次の日には何事もなかつたかのように元気になっていたりするものがございます。

今年は年号も変わり心機一転するには大変良い年でございます。よろしければ「日々是好日」を参考にしていただき充実した日々をお過ごしくださいませ。

**ご登場頂ける方
募集!**

毎日を元気に過ごす! そんなご購入者様の日常を紹介する、このコーナー
ご登場頂ける方を募集いたします。詳しくは下記までお問い合わせください。
0120-985-418

JOUEN

購入した理由や趣味の広がり
ご契約者様インタビュー



の厳かさもあり、素敵だなと思いました。
結局、赤坂はあまり来たことがなく、それならお参りのあとに家族で散策するのもいいかなと考え、施設も気に入ったのでこちらに決めました。
あと一台分ですが車を駐車できるのもいいですね。遠方から来る高齢の親戚のことを考えると車が停められることも大事でした。
華耀ちゃん:見学に来たときに出してくれたココアが美味しかったです(笑)。
華麗ちゃん:ココアを出してくれたお姉さんが可愛かった(笑)。

施設の美しさと
スタッフの皆さんの対応に感激。

——亡くなったお父様の思い出を教えてください。
奥様:父は昔ながらの昭和ドラマに出てくるような厳格な人でした。私は一人っ子なんです。その分、可愛がってはもらったのですが、すごく厳しかったです。門限も学生の頃は夜8時。ある日、遅くなっ
てしまっ「今日、お友だちのうちに泊まるから」と夜10時頃に電話をしたことがあったのですが「もうお前なんか帰ってこなくていい!」と叱られたことがあります。翌日、朝早く帰ったのですが、父は案の定、家の前で待っていて
もドアは開けてくれず、外で土下座して謝った経験があります(笑)。
でも子どもの頃はやさしくて、日曜日になると2人でバスに乗って市内のデパートに連れていってくれました。いつもお子様ランチを食べさせてもらって、帰りに必ずおもちやを一個買ってくれるというお楽しみがあったのです。高くて安くて、大きくて

も小さくても何でもいいんです。父もそれを楽しみにしていたようでした。
——お孫さんも可愛がっていらしたそうですね
奥様:はい。とても...
華耀ちゃん:3DSを買ってもらった(笑)。
奥様:ある日、実家に行ったとき、父が「ちょっと華麗、いいじと買い物に行こうか」と言っ、連れ出したんです。どこに行くのかなと思ったら3DSを買っきて、「買ってもらった!」と娘が喜んでいました。私の子どもの頃と同じデパートまで行っていたようです(笑)。
ご主人:厳しいお義父さんと聞いていたので結婚前に初めて挨拶に行くときはさすがに緊張しました。ただその前に妻の伯母さんと会っていたので下地ができ、少しは良かったと思います。昔ながらの言葉の少ない人だったので仲良くできるのかなという不安はありませんでしたけど、病気を



お子様/椎名華耀ちゃん 椎名華麗ちゃん 奥様/椎名かおり様 ご主人/椎名健之様

いつも家族揃って
清々しくお参りをしています。



赤坂浄苑ご契約者様の素顔や暮らし方をリラックスした雰囲気の中で語っていただくこのコーナー。今回はお父様の納骨と伯母様の葬儀・納骨をされた椎名かおり様とご家族の皆様にご登場いただきました。
見学に来てすぐに気に入った赤坂浄苑
——赤坂浄苑を知ったきっかけを教えてください。
奥様:父が2017年の12月に亡くなったのですが、お墓がなかったのを探していたのです。最初は熱海の実家に母もおりますので、そちらで探そうかとも思っていました。ただ親戚がいろいろな地方にいることもあり、アクセスの良い東京の方がいいと考えるようになりました。そういつたときにインターネットでお墓のことを調べ、7ヶ所から資料を取り寄せ、実際に見学に行ったのが4ヶ所、その中の一つが赤坂浄苑だったので。

ご主人:義理の父とは生前お墓の購入について話をしたことはあったのですが、あまり関心がないようで、いつも話はずやむやになっっていたのです。そして実際に亡くなったからは自宅に近い椎名家の菩提寺や、お参りに行きやすい新宿辺りのお墓を妻に勧めたりもしましたが、妻の意見を尊重して、天候にあまり左右されない納骨堂スタイルのお墓を中心に見学するようになりました。
奥様:そういつた中で赤坂浄苑を見学に来ました。ここから高齢の母もお参りしやすいバリアフリーですし、中が清潔でモダンなことが気に入りました。昔ながらのお寺のお墓は、母にとっては敷居が高いイメージがあり、お参りに行くときも怖い印象を持っていました。その点、赤坂浄苑が明るい雰囲気だったことも良かったですね。それでいて中には本堂もあり、お寺

「前座」は、寄席では一番はじめに出て来ます。プログラムに名前も載っています。出演者の前に座ることから「前座」と言われるという説がございます。師匠の家事、雑用も行いますが、師匠が高座に上がる寄席でも雑用を任せられます。この頃が落語家にとって特に厳しいとされる修行時代。でもほとんどの落語家にとっては、どれもが素晴らしい思い出となっております。はい、たぶん（笑）。



弟子入り 見習い 前座 二つ目 真打

「二つ目」、「真打」、
毎日が精進の日々
その次が「二つ目」。ここに昇進すると、やっと落語家として認められます。楽屋勤めはなくなり、紋付きの着物と羽織を着れ、専用の出囃子（でばやし）も持つことができます。寄席では二つめ（2番目）の出番となることから二つ目と言います。ちなみにお客様が支払った入場料は二つ目以降の出番の出演者に分配されます。ですから、前座さんの落語はまだ商品として認められていないのです。どうぞ皆様、前座さんの落語にはどうか暖かい目で見守って下さいませ。そしていよいよ「真打」。敬称である師匠と呼ばれる



春風亭 柏枝プロフィール

[芸名]	春風亭 柏枝
[本名]	しゅんぶうていはくし 菊池 貴紀
[生年月日]	1974年6月19日
[出身]	北海道札幌市
[階級]	真打
[出囃子]	筑摩祭
[所属]	落語芸術協会

ようになり、弟子をとることも許されます。かく言う私も真打でございます（汗）。落語家はこういった階級の昇進の中で多くの人が名前を変えます。ちなみに私は、二つ目まで春風亭べん橋という名前でした。そして真打昇進で「八代春風亭柏枝」を襲名。有難い名前に恥じないよう、これからも精進を続けてまいります！どうぞ次回もお楽しみに。お後がよろしいようで。

第二回 落語家の階級

詰と落語教室



えー赤坂浄苑様でもJOUENでもいつもお世話になっております落語家の春風亭柏枝でございます。第二回となる今回は「落語家の階級」をテーマに選びました。簡単に申し上げますと落語家には「前座」、「二つ目」、「真打」といわれています。

すべてが修業の「前座」時代



からは頼りにされることもありましたし、いっしょに将棋をしながら話もよくしました。

伯母様の葬儀も赤坂浄苑

——その伯母様も亡くなられて赤坂浄苑でお葬式を出されたばかりとの事ですね。
奥様：はい。伯母の心臓の具合が急に悪くなり、救急搬送された熱海の病院と東京の間を車で一日に何度も往復しま

した。その途中で葬儀の話も主人としたのです。熱海だと遠方から来る親戚が大変なので赤坂浄苑ならアクセスもいいし、という話になりました。そして亡くなったという知らせを受けたときに、熱海に向かう車中から赤坂浄苑にお葬式のことを相談しました。その際に深夜にも関わらず、とても親切にご対応いただき、熱海からご遺体を搬送する段取りもすぐにつきましたし、伝燈院の読経なので式場代も掛からないことも教えて下さいました。
父が亡くなったときは、熱海でお葬式を出したのですが、葬儀社との打合せなどもすべて私がやらなければならず、子どもがまだ小さいので結局、家族みんなで熱海に行かないといけません。伯母のときは赤坂浄苑を選びましたので、父のときのように打ち合わせのための移動時間がかかることもありませんでした。
——実際にお葬式を出していかがでしたか。

奥様：納棺師さんがきれいにメイクをし、髪の毛もセットしていただきました。着物も着せていただきました。
ご主人：司会の方もとても気持ちがいい感じでした。また親戚だけでしたので人数は少なかったですが、逆にアットホームな雰囲気です。葬儀全体を包んでくれたことに感激しました。もちろん赤坂浄苑のスタッフの皆さんも尽くしてくれましたね。

月に一度はお参りに赤坂へ

——ご住職にも良い印象を持たれたと伺っています。
奥様：父の一周忌と伯母の四十九日が近かったのです。親戚に何度も来てもらうのも大変なのでいっしょにできないものかとご住職さんに相談しました。すると気さくに引き受けてくれたのです。大切なのは形式ではなく、お参りする皆の心だと教えていただき、安心しました。
——赤坂浄苑にはどれくらいお参りに来られますか。



奥様：お盆や法要もありましたので月に一度のペースくらいで来ています。来月は父の命日ですし、また来る予定です。子どもがもう少し大きくなったらフラワーアレンジメントも習いたいですね。
華耀ちゃん：ここに来るとまたココアが飲めるから楽しみです（笑）。

イベントを通じて、新たな楽しみを発見しました!

赤坂浄苑では一年を通して様々なイベントを開催。

屋内墓苑として快適なお参りをご提供しながら多彩な集いの機会を設け、皆さまとのふれあいを広げています。今回は最近行われた催しの様子をダイジェストでご紹介します。

イベント **01** 10月24日(水)・25日(木)
ご利用者様旅行企画
 平成最後にふさわしく伊勢神宮へ

今年で第4回目を迎えました「赤坂浄苑・ご契約者親睦旅行」。今回は「平成」最後ということもあり、仏教とも深いかわりを持つ「天照大御神」(あまてらすおおみかみ)が祀られる「伊勢神宮」へ行ってまいりました。まずは「夫婦岩」で有名な「二見興玉神社」へ。その後は伊勢神宮の「外宮」へ。ここでは「神馬」(しんめ)に会うことができました。2日目は伊勢神宮の鬼門を守るお寺として有名な「金剛證寺」(こんごうしょうじ)から「ミキモト真珠島」へ。最後は鳥羽展望台の展望レストランで地元の海の幸を堪能いたしました。



イベント **02** 11月18日(日)
葬儀勉強会

なかなか経験できないお葬儀を体験



葬儀勉強会が開催されました。この勉強会では「まず知っていただくこと」をコンセプトに会場全体が喪主を体験するツアーのスタイルを取りながら行われました。内容は、「寝台車に乗ってみよう」、「ご遺体の安置方法を見てみよう」、「実際の花祭壇にふれてみよう」、「参列者にふるまうお料理の体験」などなかなか経験できないものばかり。実際の葬儀は悲しいものですが、この勉強会は和やかな雰囲気の中で行われました。

イベント **03** 12月7日(金)
戒名授与式

清々しい雰囲気の中で戒名を授与



2か月に1回のペースでご契約者、またはそのご家族様を対象にした「戒名授与式」を12月にも実施しました。「読経」「坐禅」「写経」を僧侶と共に行っていただき、最後に「戒名授与式」にて当院住職より仏弟子としてふさわしい名前である「ご戒名」をお授けいたしました。仏門への入門式となるこの式。参加された皆様は厳粛な中にその功德を感じたご様子で清々しい表情が見られました。

あの楽しかった思い出をあの人へ!

昨年も魅力的なイベントがたくさん開催されました。是非、お友達に赤坂浄苑の魅力をお伝えください。



ご購入者様紹介システム **あなたも あなたの大切な人も 得をする 素敵な特典!**

大切な方と、ご紹介者様に、もれなく

「グルメギフトカタログ」と「クオカード 10,000円分」

Wプレゼント!!

グルメな方もきっと満足の名店の味を取り揃えました。老舗料亭や、一流ホテルのシェフの料理をご賞味いただけます。



今後のイベントは是非お友達とご参加ください!

赤坂浄苑 イベントカレンダー

1月	1~3日 新春祈祷会	2月	1日(金) 戒名授与式	3月	9日(土) 坐禅会
	2~3日 餅つき大会		9日(土) 坐禅会		23~24日 春彼岸墓前供養
	12日(土) 坐禅会		24日(日) 葬儀勉強会		31日(日) ご供養落語会

生徒さん募集! 毎週水曜日 フラワーアレンジメント教室を開催しています!



株式会社青山
統括マネージャー 根本哲弥
丸山由利子

まごころの味を法事にお届けする 宮内庁御用達の名店。

上品な味付けの懐石料理が人気の青山。赤坂浄苑には法事や法要を終えた後の食事や飲み物をご提供していただいています。
そんな青山の統括マネージャーである根本哲弥さんと配膳を担当する丸山由利子さんにインタビューしました。

誠実とまごころで法要の会食を担当

法要の席で多くの方が満足される理由は何でしょうか。

根本：もともと懐石料理のお店でしたので京風に近い上品な味付けが合っているのだと思います。年配の方も多いので固い素材は避けて、パンフレットにない料理などのご希望もお聞きしています。

丸山：第一印象も大事なのではないでしょうか。配膳の立場で言いますと法要の席のお重をきれいに並べることから始めています。法要を終えてこの会場に入ったときに、お重の並び方がきれいだとこれから召し上がる料理にも期待が高まります。また実際に食事をされるときに不便にならないように箸の位置にも気を付けています。赤坂見附の界限はレストランなどお食事を

するところが多いのですが、こちらで召し上がったいただくメリットを感じられ、気持ち良くお帰りいただき、そんなお手伝いやおもてなしができればと思っております。

実際に法事の席でどんなお仕事をされているか、教えてください。

根本：営業のマネージャーとして当日を迎えるまでお客様から様々なご要望などもお聞きしています。そして当日は工場で作った料理を現地に時間通りにお届けすることが最も大切な業務になります。特に土日は法事が集中するので何軒も会場を回ることになります。一件の会場に届いたら、すぐに別の会場に向かい、帰りはまた器を回収に上がることになりますが、おもてなしの最終ランナーの思いでましがいのないように、また交通渋滞にも気を付けています。

丸山：私は会場の入り口のところで見守り、飲み物などは

素材の旨味を引き出す上品な味味が評判

青山の料理の特徴はどんなところにありますか。

根本：一期一会の気持ちをお大切にし、宮内庁御用達の味を企業様のパーティーやイベント、会場などにお届けしています。また赤坂浄苑様のような法事の席や他の斎場での通夜葬儀などでも食事やお弁当をご提供させていただいています。料理の特徴は衛生管理が行き



追加があればさっとお出しし、逆にアルコールをお飲みにならない方のところにお酒が残っていれば一言断って場所を広く取れるようにお下げします。またお食事がそろそろ終わる様子ですと、タイミングを見てお茶をお出しするようにしています。

「今日も頑張ろう」と思える赤坂浄苑での仕事

赤坂浄苑とは開苑以来のおつきあいと伺っています。どのような印象をお持ちでしょうか。

丸山：スタッフの皆様のチームワークが良く、入ってきた



笑顔を決やさず 日々頑張っています

ときも穏やかな表情が魅力的ですね。

忙しいときでも相手の方に寄り添った対応をされているように思います。そんな素晴らしい赤坂浄苑様に傷をつけないように気を付けています。またそんな皆さんを見習い、忙しいときでも余裕を持った表情を大事にしています。

根本：麻布浄苑様でお仕事をさせていただいた関係で赤坂浄苑様と出会いました。角田副住職様をはじめ、スタッフの皆さんがフレンドリーなので仕事がしやすいですね。仕事前の緊張した雰囲気副住

角田賢隆 副住職から一言



青山さんにはいつも料理を届けていただくたびに感謝をしています。マネージャーの根本さんは大変に身長が高いのですが腰が低く、いろいろなことに気がついてくれます。配膳でお世話になっている丸山さんは、人の良さがにじみ出るような人。法事の配膳はこの人がいないと始まりません。お2人ともスタッフの皆さんと仲が良く、赤坂浄苑になくてはならない人になっています。

職様がよく冗談などを言って気持ちよさを和ませてくれます。

丸山：料理を配膳する私たちをいつも温かく迎えていただき、とても幸せです。少し余裕のあるときはスタッフの皆さんとお友だちのようにベットのことや趣味の話などのおしゃべりもします。そんな皆さんがいるから、ここに来れば「今日もがんばろう」と思えますね。

本日はありがとうございます。

宮内庁御用達 株式会社青山



昭和29年創業の懐石料理の名店。これまで宮内庁を始め、多くのお客様に料理とまごころを提供してきました。総料理長の下、和食・中華・洋食とそれぞれに道を極めた料理長たちが手間暇惜みず作り上げる料理は、青山の味を守り続けています。

HACCP認定工場 RO水浄化システム完備

第7回 趣味の

検定に楽しく チャレンジ。



検定と言えば英語や漢字などの勉強や仕事関係を連想するかもしれませんが。しかし楽しい趣味の世界にもたくさんの検定があります。今回はお正月によく合う和のイメージや新春らしいテーマを選びました。

だし検定

年末年始は年越しや、おせちの料理とふれる機会が多いもの。その中で大きな役割を果たすのが「だし」。おいしくとる方法や調理工程、日本の地域ごとの特徴や材料、だしに関する歴史・文化、品質・規格・表示、成分と効能など、その知識を問う検定です。

問題に挑戦してみよう！

日本人にとって、だしといえば和食というイメージが強いですが、フランス料理にもだしにあたるものはあります。その呼び方はどれでしょう。

- ① ブイヨン ② ブイヤベース
- ③ フォンデュ ④ リゾット



きもの文化検定

お正月などで着る機会が多い着物。そんな着物の「歴史と文化」について詳しくなってみませんか。この文化検定は、きものを学ぶことを通して「きもの文化」への理解を深め、もっと「きもの」に親しんでいただくことを目的としています。

問題に挑戦してみよう！

既婚女性の礼装として最も正式なきものを次の中から選びなさい。

- ① 小紋
- ② 御召
- ③ 紬
- ④ 黒留袖



大河ドラマ検定

新年から新しく始まるのが NHK の大河ドラマ。毎年どのような物語が選ばれるか、興味を持っている人も多いことでしょう。そんな大河ドラマの背景やストーリー、出演者などの知識を試す検定です。

問題に挑戦してみよう！

これまで 12 作品の大河ドラマに出演した西田敏行さんは、今までに 3 人の徳川将軍を演じています。次の中で、西田さんが大河ドラマで演じたことがない将軍は誰でしょう？

- ① 初代 徳川家康
- ② 2代 徳川秀忠
- ③ 5代 徳川綱吉
- ④ 8代 徳川吉宗



赤坂ドクター もっと教えて！ 風邪と冬の乾燥との深い関係。



冬、空気が乾燥する理由

冬はシベリア気団から湿気を含む冷たい空気が流れ、日本海側に雪を降らせませす。しかしその風は日本海側に雨や雪を降らせて水分を放出しているため、乾燥しているのです。さらに冬は暖房を使用するため、もともと乾燥している冬の空気がさらに暖房で温められることで乾燥が進みます。

風邪ウイルスは空気の乾燥が大好き

風邪の原因のほとんどはウイルスの感染によるものです。風邪のウイルスは 200 種類以上あると言われていたますが、みんな冬の乾燥が大好き、というよりも湿気を多く含む空気が大嫌いだと表現したほうが良いでしょう。それはウイルスが湿度の高い状況では、すぐに地面に落下してしまうからです。逆に乾燥すると落下速度はゆるやかに空気中を漂うこととなります。

風邪をひいた人は 1 回の咳で 10 万個、1 回のクシャミで 100 ~ 200 万個の飛沫を空気中にばらまいているそうです。その中にはたくさんの風邪ウイルスが含まれていることでしょう。それが乾燥した空気中を漂うことで、鼻やノドからの侵入を容易にします。さらに空気が乾燥すると、ノドの粘膜が乾燥して炎症をおこしやすくなり、ウイルスを防御する力が衰えてきます。こうしたことが重なり、空気が乾燥する冬には風邪をひきやすくなるわけです。

冬場の空気乾燥を防ぐには

室内の乾燥対策として最も良いのは加湿器です。ただし気をつけたいのは使い方。部屋に結露が出るほど何台も置く人もいますが、結露が続くと冬でもカビが生え、逆に健康にも良くありません。また加湿器の水タンクは毎日洗いましょう。

観葉植物も乾燥対策には強い味方。自然の加湿器になります。キレイなタオルを濡らして、干すことも乾燥を防ぎます。またタオルをつるしていれば、おおよその乾燥度がわかります。

冬はうがいと手洗い
そして乾燥対策が
大事です！

風邪を予防する上で意外に忘れがちなのが空気の乾燥対策。加湿器などを置いて気を付けている人もいますがそれほど多くないようです。しかし実は冬場はノドの粘膜が乾燥して炎症をおこしやすくなり、ウイルスを防御する力が衰えてくるのです。そこで今回は空気の乾燥と風邪との関係に迫ってみました。



本格的な風邪の季節！しっかりと対策して元気に過ごしましょう！
空気の乾燥に気をつけて風邪予防。

新たな出会い・新たな体験・新たな発見 心まで満たされるイベント

赤坂浄苑 行事予定

1 January

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1 赤口 元日	2 先勝 餅つき 雑煮・甘酒 ご奉仕	3 友引 餅つき 雑煮・甘酒 ご奉仕	4 先負	5 仏滅
6 赤口	7 先勝	8 友引	9 先負 フラワー アレンジメント 教室	10 仏滅	11 大安	12 赤口 坐禅会
13 先勝	14 友引 成人の日	15 先負	16 仏滅 フラワー アレンジメント 教室	17 大安	18 赤口	19 先勝
20 友引	21 先負	22 仏滅	23 大安 フラワー アレンジメント 教室	24 赤口	25 先勝	26 友引
27 先負	28 仏滅	29 大安	30 赤口 フラワー アレンジメント 教室	31 先勝	1	2

2 February

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1 友引 一日修行 戒名授与式	2 先負
3 仏滅	4 大安	5 先勝	6 友引 フラワー アレンジメント 教室	7 先負	8 仏滅	9 大安 坐禅会
10 赤口	11 先勝 建国記念の日	12 友引	13 先負 フラワー アレンジメント 教室	14 仏滅	15 大安	16 赤口
17 先勝	18 友引	19 先負	20 仏滅 フラワー アレンジメント 教室	21 大安	22 赤口	23 先勝
24 友引 葬儀勉強会	25 先負	26 仏滅	27 大安 フラワー アレンジメント 教室	28 赤口	1	2

3 March

日	月	火	水	木	金	土
24	25	26	27	28	1 先勝	2 友引
3 先負	4 仏滅	5 大安	6 赤口 フラワー アレンジメント 教室	7 友引	8 先負	9 仏滅 坐禅会
10 大安	11 赤口	12 先勝	13 友引 フラワー アレンジメント 教室	14 先負	15 仏滅	16 大安
17 赤口	18 先勝	19 友引	20 先負 フラワー アレンジメント 教室	21 仏滅 春分の日	22 大安	23 赤口 春彼岸 墓前供養
24 先勝 春彼岸 墓前供養	25 友引	26 先負	27 仏滅 フラワー アレンジメント 教室	28 大安	29 赤口	30 先勝
31 友引						

皆様が参加したい
イベントを
募集いたします！

下記、管理寺務所まで
お問い合わせください



フラワー
アレンジメント教室



坐禅会



餅つき大会



ご供養落語会

検定に楽しくチャレンジの答え

だし検定: 1
きもの文化検定: 4
大河ドラマ検定: 3

お知らせ
2019年4月8日は
メンテナンスの為
終日休館日とさせていただきます。
何卒ご理解いただきますよう
宜しくお願い致します。

お問い合わせ
伝燈院 赤坂浄苑 管理寺務所 TEL.0120-358-053



facebook
伝燈院 赤坂浄苑
フェイスブック始めました

【偉人の遺言】

瀧廉太郎

憾 (うらみ)



波乱万丈の生涯を生きた
様々な偉人たち。その人生
の最期の言葉を紹介する
コーナー。今回は作曲家の
瀧廉太郎を選びました。
荒城の月など数多くの名曲
を生んだ廉太郎ですが、こ
の時季にふさわしいのは何
と言っても「お正月」では
ないでしょうか。

人生を豊かに
生きていくヒント！

子どもの頃から
音楽教師を志す

瀧廉太郎は明治政府役人の父・吉弘と、母・正子のあいだに、長男として東京府芝区(現・東京都港区西新橋)に誕生しました。瀧家は父が役人であったため、転勤が続き、各地方を転々としています。高等小学校は父の故郷である大分で過ごし、卒業した廉太郎は音楽教師を志しました。そして15歳で東京音楽学校(現・東京藝術大学音楽学部)に入学。ピアノと和声学で才能を発揮し、本科専修部を首席で卒業し、研究科へと進学します。

お正月などの名曲を
作曲

そして22歳で文部省音楽留学

生としてドイツ・ベルリンへ。ライプツィヒ音楽院に入学しました。

今でも多くの人に親しまれている「花」や「荒城の月」、そして「お正月」などの名曲を残した廉太郎ですが、そのほとんどは東京音楽学校卒業からドイツ留学までの期間に生まれました。廉太郎の曲が世に出る前の明治の音楽は、西洋で作られた曲に無理やり日本語を当てはめた不自然なものが多く、国民の多くが日本らしい音楽を求めた時代だったと言えます。そういった中で日本の美しい四季折々の情景や歴史をすぐに想い浮かべることができたのが廉太郎の曲でした。まさに国民感情にこめられたのが、廉太郎のリズム、そしてメロディだったのです。

最期に残した
ピアノ曲

もしもこのままドイツ留学が続けば、さらに多くの素晴らしい曲が生まれたかも知れません。しかし、廉太郎は、留学からわずか5か月後、肺結核を患い、現地で治療を受けましたが、治らずに帰国させられました。その後、大分県で療養生活を続けましたが、23歳の若さでこの世を去ったのです。廉太郎は遺言という遺言は残してはいないのですが死の数か月前に書かれ、最期の作品となった曲がピアノ曲「憾」(うらみ)です。ちなみに「憾」とは、憎しみの気持ちのことではなく、心残りや未練、無念といった気持ちを指します。